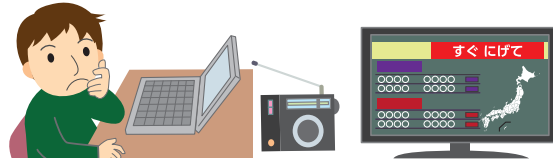


津波情報を収集する

すぐに避難するためには、いち早く情報を集める必要があります。テレビやラジオ、インターネットなど様々な手段を使って情報を集めましょう。



津波情報の入手先

テレビ 各放送局やリモコンのdボタンから災害情報を確認できます。	インターネット いわき市や気象庁などのホームページから災害情報を確認できます。	広報車・防災行政無線 地震の後サイレンが聞こえたら危険な状況です。すぐに避難の準備を！ 防災行政無線の放送内容は0246-21-9901で確認できます。
ラジオ 避難先や車の中から災害情報を確認できます。FMいわき(76.2MHz)では防災行政無線の放送を流します。	携帯電話・スマートフォン 緊急速報メールや市防災メールで災害情報を確認できます。	津波フラッグ 海水浴場や海岸付近で津波警報などをお知らせします。避難の合図です！

市公式SNSなどでも情報を発信しています！

QRコードを読み込んで簡単アクセス！

いわき市 Twitter

災害時には避難情報や避難所開設情報などをいち早くお知らせします。

@City_Iwaki

いわき市 ホームページ

災害時には避難情報や避難所開設情報、被害情報、被災者支援などの情報を発信します。

いわき市 Facebook

災害時には避難情報や避難所開設情報などをいち早くお知らせします。

いわき市役所

いわき市 LINE

友だち登録をすると避難情報や避難所開設情報などを簡単に受け取れます。

@iwakicity

いわき市 YouTube

いわき市公式動画チャンネル「iTube」では防災に関する講座を動画で配信しています。

iTube

いわき市防災メールでは様々な情報を入手できます！

いわき市防災メールでは、地震・津波情報のほか、気象情報や避難情報、避難所情報をEメールでも簡単に受け取ることができます。

登録方法

- 右のQRコードを読み取り、**iwaki@entry.mail-dpt.jp**に空メールを送信！*
- 確認用(仮登録)のメールが届いたら、メール本文から登録画面(本登録)へ！
- 様々な配信項目の中から、配信を希望する項目を選択して本登録！

※迷惑メール対策をされている方は「iwaki-bousai@city.iwaki.fukushima.jp」からメールが受信できるように設定してください。

いわき市

津波

ハザードマップ

保存版
令和4年3月作成
分かる場所に置いてください

図面番号 ①
索引図は裏面をご覧ください



大久川河口部 (いわき市撮影)

いわき市津波ハザードマップ索引図

図面番号 ①	久之浜・大久地区	久之浜町末続、久之浜町金ヶ沢、久之浜町久之浜、久之浜町西、久之浜町田の網、大久町大久、大久町小久
図面番号 ②	四倉地区	四倉町、四倉町上仁井田、四倉町下仁井田、四倉町塩木、四倉町狐塚、四倉町細谷、四倉町大森
	平地区	平泉崎、平馬目、平原高野、平下神谷、平荒田目、平上大越、平下大越
図面番号 ③	平地区	平藤間、平下高久、平神谷作、平沼ノ内、平薄磯、薄磯、平豊間
図面番号 ④	小名浜地区	江名、折戸、中之作、永崎、小名浜、小名浜下神白、小名浜上神白、小名浜岡小名
図面番号 ⑤	小名浜地区	小名浜、小名浜岡小名、小名浜大原、小名浜島、小名浜住吉、小名浜南富岡、泉町滝尻、泉町下川、泉町本谷
図面番号 ⑥	勿来地区	小浜町、岩間町、東田町、佐糠町、植田町、後田町、仁井田町、石塚町、中岡町
図面番号 ⑦	勿来地区	錦町、山田町、富津町、沼部町、勿来町



いわき市は太平洋に面した約60kmの海岸線を有しています。海は漁港、国際貿易港、海水浴場、景勝地などを形成し、私たちの暮らしを豊かにする一方、平成23年3月11日に本市を襲った「東北地方太平洋沖地震」に伴う巨大津波は多くの尊い命や財産を奪いました。

この津波ハザードマップは、津波発生時の避難の目安となるように、津波の浸水想定区域、浸水想定深、津波避難場所などの情報を示しています。

津波から身を守るためには「**すぐ**」「**高いところ**」に避難することが大切です。事前に避難場所や避難経路などを確認しておきましょう。

掲載している地区

久之浜・大久地区

久之浜町末続、久之浜町金ヶ沢、久之浜町久之浜、久之浜町西、久之浜町田の網、大久町大久、大久町小久

マップを見終わったら最寄りの**避難場所**を記入しましょう。

家族が全員一緒に避難できるとは限りません。家族の**集合場所**を決めましょう。

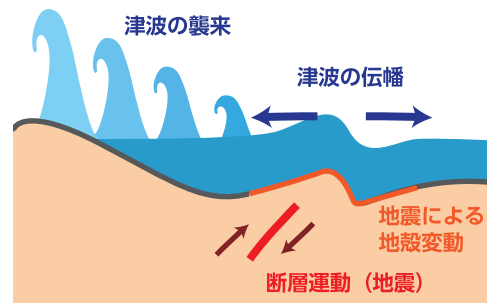
津波ハザードマップはいわき市ホームページでも公開しています。

ダウンロードなどはこちらから
<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1001000003871/index.html>
 他にも様々な防災情報をお知らせしています。



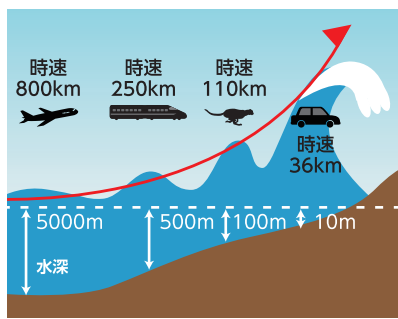
津波を知る

津波の発生



海底で大きな地震が発生すると、海底に上下方向のずれが現れます。このとき海面が大きく動いて、大きな波となって四方八方に伝わるものを**津波**といいます。

津波の伝わる速さと高さ



津波は、海が深いほど速く伝わります。沖合ではジェット機ほどの速さで波が伝わります。水深が浅くなるほど遅く伝わるため、**津波が陸地に近づくにつれ、減速した波の前方部に後方が追いつくことで波高が高くなります。**

津波のおそれがあると

地震が発生し、津波の危険性がある場合、気象庁から**津波警報**などが発表されます。津波情報の種類とそれぞれの津波に関する情報は次のとおり分類されます。

種類	予想される津波の高さ		想定される被害	取るべき行動	防災行政無線の広報
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の場合の表現			
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれます。	沿岸部や川沿いにいる人（特に津波ハザードマップで色がついている場所にいる人）は、 ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難 してください。津波は繰り返し襲ってきますので、 津波警報が解除されるまで安全な場所から離れず避難 を続けてください。ここなら安全と思わず、 より高くより遠い場所を目指して避難 しましょう！	約3秒間のサイレン音が連続します。 サイレン 3秒吹鳴 2秒休止 2秒休止
	10m (5m<高さ≤10m)				
	5m (3m<高さ≤5m)				
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。	約5秒間のサイレン音がゆっくりと続きます。 サイレン 5秒吹鳴 6秒休止	
津波注意報	1m (0.2m≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが出し小型船舶が転覆します。	海の中にいる人もしくは海岸堤防などより海側にいる人は、 ただちに海岸から離れてください 。注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。	チャイムと肉声広報が流れます。

津波に備える

津波から身を守るためには、日頃からの備えも大切です。家族全員で取り組み、一人ひとりが津波に備えることで、バラバラに避難しても全員が安全に避難することができます。

避難先はまず避難場所！次に避難所

原則徒歩で避難！※車での避難は危険が伴います。

ハザードマップを確認

避難場所・避難経路は事前に確認しておこう！

集合場所を事前に決めておこう！

避難場所・避難経路は事前に確認しておこう！

非常持出品・備蓄品の準備

飲食料品や電池などは定期的に交換！

持ち出しやすいようにリュックにつめよう！

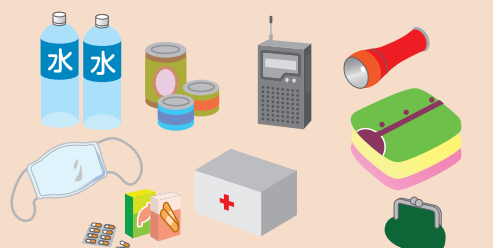
防災訓練に参加

周りの人にも声をかけて積極的に参加！

いわき市は総合防災訓練を実施するよ！

非常持出品の例

- 飲料水 (500mLペットボトル2本)
- 非常食 (乾パンなど)
- おくすり手帳
- 医薬品 (常備薬)
- 感染症対策 (マスクなど)
- 携帯電話用充電器 (モバイルバッテリー)
- 携帯ラジオ
- 防寒着
- 身分証明書 (運転免許証など)
- 貴重品 など
- 懐中電灯
- 雨具 (レインコート)



津波から身を守る

1. 地震から身を守る

津波警報などが発表！

2. 津波避難場所に避難

避難場所へ避難完了

3. 避難場所に留まる

津波警報が注意報に

4. 避難所などへ避難

- ・まずは地震による落下物などから**身を守りましょう**。
- ・安全が確保出来たら**火の元を確認！**
- ・大きな地震の後はテレビなどで**津波の情報を収集！**
- ・長くゆっくりとした揺れを感じたら**津波警報などが発表される前に避難開始！**



- ・津波警報などが発表されたら**すぐに避難開始！** (津波は猛スピードで襲ってきます！)
- ・周りの人にも声をかけあって、**率先して避難！**
- ・**原則徒歩で避難を！** (車での避難は渋滞などに巻き込まれ、逃げ遅れてしまう可能性があります。)



- ・津波警報解除まで**自宅などには戻ってはいけません**。
- ・津波は繰り返し襲ってきて、第1波よりも第2波、第3波の方が大きくなることもあります。



- ・自宅が**津波被害にあった場合は**、自宅に戻らず、**市指定避難所や地区独自の避難所、知人宅などに避難**しましょう。
- ※自宅が新耐震基準を満たしていない場合は余震に注意し、異常がある場合は避難所などに避難しましょう。



津波から身を守るために

- 落ち着いて。でも**急いで避難！**
- 自分から**率先して避難を開始！**
- 遠い場所よりも**高い場所 (建物) へ！**
- **津波が来た！**からでは**間に合わない！**
- **やむを得ず車を使う場合は避難場所ではなく津波の浸水想定区域外へ避難！**

まちには様々な津波に関する表示板があります！

日頃から、自宅や職場などよく行く場所の周辺で、津波に関する表示板を確認しておきましょう。**避難の際は設置されている避難表示板も参考に！**



よく見るあのマークは？

左：津波避難場所
右：津波避難ビル
津波の避難場所を示すマークです。

津波注意
津波浸水の注意を示すマークです。

災害用伝言サービス

災害時に、自分の安否を大切な人に伝えたり、相手の安否を確認したりすることができる声の伝言板です。インターネットを利用した災害用伝言板 (web171) もあります。

災害用伝言ダイヤル **171**

毎月1日と15日に体験ができますので、練習してみましょう！災害時には各携帯会社の災害用伝言板も利用できます。

Step. 1 **171** 災害用伝言ダイヤル

Step. 2 伝言を**録音**する **1** 伝言を**再生**する **2**

Step. 3 録音または再生する電話番号を入力
(X) (X) (X) (X) (X) (X) - (X) (X) (X) (X)
固定電話の場合、**市外局番** (0246など) から入力
携帯電話番号でも録音・再生可能です。

Step. 4 ガイダンスに従い録音または再生